

## 送辞

冬の寒さも和らぎ、春の日差しがいつそう柔らかく、優しく感じられます。

九年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば二年前、大山中学校に入学した私たちを、先輩方は温かく迎えてくださいました。中学校生活という新しい世界に不安と緊張でいっぱいだった私たちの心は、希望に変わっていききました。

先輩方と過ごした思い出は尽きませんが、特に印象に残っているものは、毎週金曜日に行われたハイタッチデーです。学年の壁を越えてみんなとハイタッチすることで、大山中全体に笑顔と絆が生まれました。積極的に活動に参加し、学校を盛り上げてくださった先輩方には、感謝の言葉しかありません。部活動では一生懸命に練習し、時には涙を流す場面もありましたが、いつも前向きな発言でチームを励まし勇気づけてくださいました。緑鷹祭の劇では、ユーモアを交えながら進路の選択についてアドバイスをいただくことができ、難しいテーマも楽しくしゃかり考えることで、私たちの将来設計につながりました。私たちにとって先輩方は誰よりも憧れの存在です。あいさつやひたむきに努力することの大切さ、そして何より仲間の大切さ。そんなたくさんの大切なことを教えて下さいました。感謝の気持ちでいっぱいです。今まで、本当にありがとうございました。

先輩方が今日、大山中学校を卒業されることはとても寂しいです。また、春からは私たちが最上級生になるということに少し不安と戸惑いも感じています。ですが、先輩方に教えていただいた、たくさんのことを一つ一つ思いだし、先輩方が守ってきた大山中学校の伝統を受け継ぎ、一歩ずつでも先輩方に近づけるよう、日々精進していきます。

先輩方の今後のご健康とさらなるご活躍を心からお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和八年三月六日

在校生代表 梅村 空弥